

理事長杯競技要項

1. 競技方法

1 8ホールズストロークプレー

アンダーハンディ戦

バックティー使用

2. 競技の条件

① ホールとホールの間での練習禁止

規則 5-5 bは次のように修正される。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

または、

・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

この条件の違反は次のホールに2打罰。

② スタート後の打球練習場及びアプローチ練習場の使用禁止

3. 競技規則

① 修理地は、青杭又は白線をもってその境界を標示する。

② レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。

③ インコース1 3・1 4番ホールの縞杭は、適用外とする。

④ 排水溝は動かせない障害物とする。

⑤ 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

⑥ 元電磁誘導カート用の3本のコンクリート軌道は全幅をもって動かせない障害物とみなす。

⑦ スプリンクラーが、パッティンググリーンから2クラブレンジス以内にあり、球からも2クラブレンジスの範囲内で、しかも球とホールの間プレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは動かせない障害物として救済を受けることができる。

⑧ 本ローカル・ルールに記載されていない事項はすべてJGA競技規則による。

4. 順位の決定

同ネットの場合ハンディ上位、同ハンディの場合カウントバックとする。